

## 高校生のボランティア活動 『Messenger 311』

### 私たちにできること… NHK でも報道

東北学院中・高がある小鶴新田のすぐ近くまで押し寄せた津波。その被災地を通学路にしていた高校生たちが、点在する避難所や自宅に避難している人たちの必要なものを聞き出し、ホームページ上で紹介、それを見た支援者がピンポイントで避難者に支援を送るといふ、物資のマッチング活動を実施している。その名を、災害ボランティアグループ「Messenger311」。高等学校3年生で組織され、代表の末永伸太郎さんたち8名は自転車で瓦礫の中を走り回り、情報を集め、タイムリーな支援ができるようにと更新も随っている。この活動を聞きつけたメディアにも多数紹介され、5月にはNHK取材を受け、「高校生の被災地支援活動」として夕方の情報番組で全国放送された。

6月現在、周辺の被災地も落ち着きを取り戻し、高校生の活動も学業に専念するというところで今は活動が休眠状態だが、彼らの「自分たちができること」を自ら探り当て、それが地域の人々の支援になった一連の活動は大きな成果といえる。